

介護ビジョン

ケアのある風景

社会福祉法人

芦別慈恵園

第1特集

入り口だけでなく
出口も重要

人が辞めない

事業者

徹底研究

第2特集

自然災害から情報漏洩まで

あらゆる

災害リスクに備える

緊急企画

徹底解説

介護職員処遇改善

支援補助金

介護小説

「もうひとつの世界」

桎梏



人材採用最前線

訪問介護を中心に幅広い事業を展開するNPO法人グレースケア機構は、地域社会の多種多様なニーズに対して柔軟な対応を続けることで、新たなニーズと人材の掘り起こしに成功。右肩上がりの人材確保を実現している。

(取材・文/長北健嗣)

利用者との担い手

双方の満足度を上げる仕組みを構築

ニーズに対応するための「指名制」と「芸」

2008年に設立されたNPO法人グレースケア機構は、東京都三鷹市を拠点に地域密着型の事業を展開している。同法人の事業の柱は大きく3つ。1つは訪問介護サービスで、利用者は約420人を数える。現在、約170名のスタッフが0歳の乳児や100歳超の高齢者、難病の人や障害者まで幅広く対応している。2つ目は研

修と相談業務で、医療的ケアの研修や成年後見の相談なども手がけている。3つ目はまちづくりに関する活動だ。民家を使った小規模デイやシェアハウス、フリースペースなどを運営している。

同法人では、利用者からの多様なニーズに応えるため、介護保険に頼らない自費の訪問介護サービスを設立当初から提供してきた。「介護保険は、私たちサービス提供者にとってすごく窮屈な部分があり、また利用者さんにとっても



利用者とヘルパー
双方の希望に応える

NPO法人グレースケア機構

From 東京都三鷹市

柔軟な働き方を実現する Check Point

- ☑ 利用者のニーズに幅広く応えることで、スタッフの強みを活かせる職場環境を構築
- ☑ 介護保険制度に囚われない考え方で、サービスの幅を広げて求職者の応募意欲につなげる

使い勝手が悪く、生活の自由や豊かさを抑える制度だという問題意識がありました」と同法人代表の柳本文貴さんは振り返る。

「家の中を使いやすく片付けてほしい」「遠くへ旅行に行きたい」など、利用者からのさまざまな希望やニーズに応えるには、それらに対応できる幅広い人材と体制づくりが重要になる。そこで生まれたのが「指名制ヘルパー」と「一芸ヘルパー」だ。指名制ヘルパーは、利用者やその家族が希望する

ヘルパーを選べる制度のこと。また、一芸ヘルパーは、介護に限らず、自分の特技や経験などを売り、をもつヘルパーを言う。

同法人のホームページにはヘルパーのリストが掲載されており、そこには、たとえば知的障害をもつ人とかかわりに長けている人や、中国語やスペイン語など外国語に堪能な人、力仕事が得意な人、看取りや難病ケアの経験が豊富な人など、多様な特長や技能をもつスタッフがずらりと並んでい

る。これは「多様な人材を確保していくことで利用者のニーズに幅広く応えていくことができる」という同法人の考え方を端的に示したものだ。ヘルパーを求める利用者とはもとより、ほかの訪問介護事業と違い自身の強みを活かせる場があることが、在宅介護の仕事に興味がある人たちからの関心を引き出す材料にもなっている。



▲整理収納から身辺整理まで担う「片づけヘルパー」

▼ホームページでは、指名制ヘルパーを写真入りで紹介



同法人に所属するヘルパーは20代から70代まで幅広く、男性も少なくない。また、施設で職員本位の集団ケアを経験し、それに嫌気を覚えた人たちも多い。「身体介護や認知症ケアスキルを、広く地域にも活かしてほしい」という柳本さんの考えに共鳴した介護経験者が、同法人の門を叩いている。一方で多いのが、介護未経験の人だ。一般企業はもとより、音楽や演劇など、多彩な職種や活動を経験してきた人たちが多数活躍している。音楽をしていた人は家で楽器を演奏したり、鍼灸師の資格をもつ人は鍼灸マッサージを提供したりと、ケアに取り入れている。「介護の経験があまりなくても、別の長い経験をもつ人たちはとても貴重な存在です。これまでの経験やキャリア、資格などを在宅介護でも発揮してもらいたいと考えられています」と柳本さんは説明する。そのため、採用において「一芸ヘルパー」と枠組みをつくっているわけではなく、ヘルパーと一口に言っても「さまざまな人が存在する」とことを指した、キャッチフレーズのようなものだそうだ。

利用者ニーズとヘルパーのニーズ どちらも実現する仕組み

指名制ヘルパーと一芸ヘルパーを推し進めるなかで新たな動きが生まれた。「片づけヘルパー事業部」がそれだ。掃除や片づけなどに関する相談が多いことから、同法人のヘルパーで整理収納アドバイザーの資格をもつ永井美穂さんが立ち上げた。

「大がかりな片づけは介護保険では対応できません。そこで、まずは片づけ事業部が何回か入った後、介護保険につなげるケースもあります」

清掃業者を拒むゴミ屋敷に近いような場合でも、片付けができる介護福祉士なら利用者や信頼関係をつくりながら、少しずつ掃除を進められるという。片づけ事業部に続き、食材や食べやすさにこだわった料理をつくる「おいしい事業部」や、旅行や外出を手伝う「おでかけ事業部」など、現在5つの事業部が立ち上がり、利用者のニーズにえている。制度ありきではなく、生活ありきで考えることをモットーとする、同法人なら

ではの動きと言えるだろう。

右肩上がりです。スタッフの数を増やしている同法人だが、採用目標は特に設けていないという。利用者からの依頼に応えるうちにスタッフ数が増え、スタッフが増えるほど対応できる範囲が広がっていく。同法人の柔軟な組織運営や人材に対する姿勢が、相乗効果を生み出しているようだ。

「利用者さんの依頼が一人ひとり異なるように、ヘルパーも百人百様。各人の特長や働きやすさ、希望などを踏まえた仕事をつくっている感じです」と話す柳本さん。面接に来た時点では、まだ自分の「一芸」や、やりたいことが明らかになっていない人もいるが、働きながらともに見つけていくという。



NPO法人 グレースケア機構

●東京都三鷹市下連雀 3-17-9
TEL 0422-70-2805
URL g-care.org